

記念講演

演題 「夢をあきらめない！」

講師 石黒由美子氏

アーティスティックスイミング* 北京五輪代表選手



愛知県出身。小学2年生の秋、交通事故に遭遇。顔面を540針、口の中を260針縫う大けがを負う。治療中に、テレビで見たアーティスティックスイミング（2018年シンクロナイズドスイミングから名称変更）に憧れ、翌年から競技を開始。記憶喪失、顔面麻痺、視力障害、難聴等の後遺症に苦しみながらも、母と二人でオリンピック出場を目指し、見事に成し遂げる。

厳しい練習の傍ら、愛知教育大学で幼稚園から高校までの教員免許を取得した努力家。現在は、「いじめ問題の実態把握とその解決策」をテーマに研究する一方、自身の体験を元にした講演活動も精力的に行っている。



石黒和美氏

石黒選手の母親

*2018年 シンクロナイズドスイミングから名称変更

分科会

領域・研究課題 担当協議会

第1分科会 【組織・運営】

より親しみやすいPTA組織を模索し、地域社会との連携を通じて、子どもたちの健やかな成長と明るい未来を拓くための運営の方策を考える。

京都府・奈良県

第2分科会 【生涯学習】

親も子も、生涯を通じて学びを見い出し、自己研鑽し、地域との絆を深められるPTA活動を通じて、学校が生涯学習の拠点として地域協働を高める場となる方策を考える。

大阪市・大阪府

第3分科会 【人権学習】

子どもたちが、それぞれの個性を肯定的に捉え「自分らしさ」に気付けることが大切である。家庭・学校・地域において、大人たちが、自他共に排除しない社会を目指す取組を考える

神戸市・和歌山県

第4分科会 【青少年健全育成】

ネット社会の中で、情報を見極め責任ある行動がとれる力の育成が必要である。

子どもたちが安心して生き抜くために必要な「人とつながる力」を育てるため、家庭・学校・地域の連携の在り方考える。

京都市・兵庫県

第5分科会 【広報活動】

「未来は人と人が拓く」…親子の関係性や親と先生との役割分担など、対話ができる場所を広げるPTA活動を目指す。

日々の活動や成果、仲間作りに役立つ情報をより多く発信する活動を考える。

滋賀県・京都府

第6分科会 【特別分科会】

子供たちと取り組む脱プラスチック ～かめおかプラスチックごみゼロ宣言の挑戦～

原田禎夫氏 大阪商業大学公共学部准教授(前亀岡市立安詳小学校PTA会長)

※分科会の実践発表は、大会記録誌に掲載し、配布します。